

# 同 志 社 大 学

## 2013 年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2014 年 2 月 3 日提出

所 属	職 名	氏 名
グローバル・コミュニケーション学部	教授	三ツ木 道夫
研 究 題 目	ドイツにおける宗教文書翻訳の問題（2）	
研 究 成 果 の 概 要	<p>本年度はドイツの聖書翻訳、ことに福音派信仰の基礎となったマルティン・ルターの聖書翻訳について、基礎的な研究を行うにとどまった。また年度の途中から、担当講義科目「ドイツ文学-ファウスト文学入門」の内容的な不十分さが自覚され、問題となるファウスト像とナチス・ドイツとの関連考察にも研究時間を割かなければならなかったためである。</p> <p>具体的研究成果としては、現代の翻訳研究にも甚大な影響を及ぼしているナイダ理論（E.A.Nida: The Theory and Practice of Translation）とルターの方法との比較対照研究に着手したほか、ナチス思想関連でシェラットの『ヒトラーの哲学者たち』（Yvonne Sherratt, Hitler's Philosophers 2013）の批判的検討にも着手できた。</p>	